



南種子町立西野小学校
学校だより 8月号
<http://m-nishino.sakura.ne.jp>



オリンピックから学ぶ

校長 木村 忠宏

17日間に渡って熱戦が繰り広げられたパリ・オリンピック。競技が夕方から深夜に掛けて行われるため、みなさん帰宅されてからテレビの前でゆっくりと観戦されたのではないのでしょうか。私もその一人で、日本代表選手の応援に勤しみ、その熱いプレーに一喜一憂した毎日でした。時には、選手と共に喜びや悲しみの涙を流したり、得点シーンや美しい演技に思わず感嘆の声をを出したりするなど、勇気と感動をたくさんもらった3週間でした。

さて、日本勢の活躍ですが、メダルの合計が45個。海外で開催されたオリンピックでは過去最多となりました。（決してメダルを獲ることだけが全てではなく、一つの目安として捉えています）私が子供の頃に比べると日本の競技力も上がり、どの競技を観戦しても本当に応援のしがいがあります。応援していると「もう逆転はないだろうな」というような圧倒的不利な状況にも出くわします。あと1点取られると敗戦……。応援している私は勝手に「万事休す」とすでに諦めてしまうような状況。しかし、そのような状況でも選手たちは、最後まで試合を投げることなくプレーを続けます。そして、追いつき、さらには追い越す場面が大会をとおして幾度も見られました。一体どこからそんな力が出るのでしょうか。

ある水泳選手は、「練習は裏切らない」という言葉を常々口にしています。1日に12km泳ぐこともあり、ウォームアップやクールダウンを含めると、レースの数倍以上の距離を泳ぐそうです。またある体操の選手は、柔軟性や筋力、技術の精度を維持するために、毎日数時間の練習を欠かさず行っているそうです。さらにスケートボードの選手は、毎日4時間のスケートボードの練習を行い、新しいトリックの習得や既存の技の精度向上に努め、さらに体カトレーニングやメンタルトレーニングをこなしています。

やはり自分を信じられるだけの練習量や質が、どんな場面や窮地に追い込まれても自分の力を発揮できる糧となっているのでしょう。どんなに練習したとしてもいつもよい結果が出るとは限りませんが、大舞台に立つまでの過程を大切にすることをこのオリンピックで改めて感じることでした。

2学期は、運動会や創立150周年記念式典、持久走大会など、学校行事が目白押しです。学校行事に限ったことではありませんが、子供たちには各行事に臨むまでの過程を大切にさせ、自信を持ってスタートラインに立ったり、競技や表現ができたりするように指導していきたいと考えています。

水泳記録会、がんばりました

7月23日（火）に開催された町小学校水泳記録会に、5・6年生が西野小学校の代表として出場しました。

この日に向けて、授業時間や放課後に一生懸命練習に取り組んだ子供たち。当日はその成果を存分に発揮しました。出場したすべての子供が、西野小の代表として素晴らしい泳ぎを見せてくれました。

その中でも、特に顕著な成績を収めた子供を紹介します。

学年	男女	種目	出場選手	順位	備考
		100m個人メドレー		1	大会新記録
5	男	25m自由形		2	
6	女	25m自由形		1	大会新記録
				2	
6	女	25m平泳ぎ		1	
				2	
6	男	50m自由形		2	
5	男	50m平泳ぎ		2	
6	男	50m平泳ぎ		2	
5・6	混合	100mリレー		1	大会新記録



おみこしワッショイ!

8月11日（日）ロケット祭が開催されました。

開会後の御神輿（おみこし）パレードに西之地区育成会からも参加して、子供たちは御神輿をかつぎました。「ワッショイ、ワッショイ」と元気よくかけ声をかけながら、上中の町中を練り歩きました。

沿道で見守る方々から、温かい声援や冷たい水をかけてもらいながら、最後まで元気いっぱいパレードを楽しむことができました。

保護者の皆様、校区役員の皆様、御協力ありがとうございました。



9月の行事

- 2日（月）始業式
- 14日（土）土曜授業
- 17日（火）運動会予行
- 22日（日）創立150周年記念
校区・小学校合同大運動会
- 27日（金）運動会振替休日

10月の行事

- 1日（火）校内読書月間（～31日）
- 9日（水）秋の一日遠足
- 12日（土）土曜授業 いもほり（予定）
- 15日（火）教育相談（～25日、全家庭対象）
- 17日（木）町陸上記録会
- 20日（日）御崎神社大祭
- 29日（火）研究公開



